

各位

2018年1月9日
株式会社アプリックス
(コード番号:3727 東証マザーズ)

「InterAqua 2018 第9回国際水ソリューション総合展」に出展
～ 2018年春発売予定の「HARPS Aqua」など、浄水器 IoT 化機能製品を展示 ～

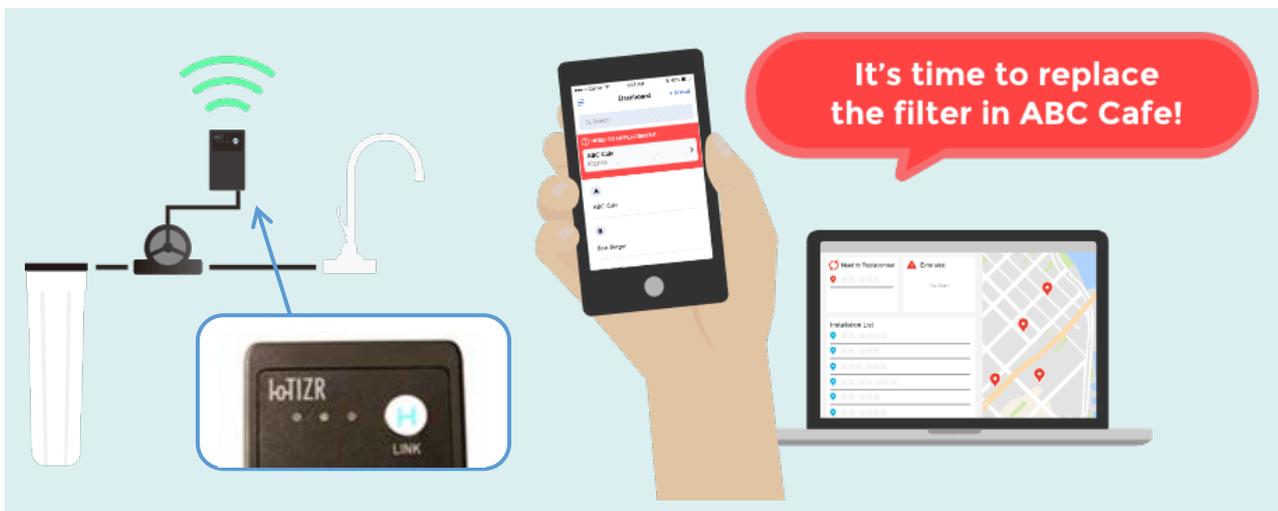
IoT (Internet of Things) 製品向けソリューションの開発を手掛ける株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役 兼 取締役社長:長橋賢吾、以下「アプリックス」)は、2018年2月14日(水)～16日(金)に東京ビッグサイトで開催される「InterAqua 2018 第9回国際水ソリューション総合展」に出展し、「HARPS Aqua(ハープス・アクア)」をはじめとする、浄水器 IoT 化機能製品(浄水器を短期間でIoT化することに特化した製品)を展示します。「HARPS Aqua」は既存の浄水器をインターネットにつなぎ、クラウド上で管理するためのオールインワンパッケージです。2017年末にオランダで開催された展示会「Aquatech Amsterdam 2017」に「HARPS Aqua」を出展し、モニター版を配布しました。結果、モニター登録いただいた企業が200社を超えるなど好評を得ました。「HARPS Aqua」は2018年春に日本、アメリカ、及びヨーロッパで発売予定です。

<展示予定の製品について>

■HARPS Aqua

さまざまな浄水器や設置環境に柔軟に対応でき、かつ簡単に使用開始できることを追求したパッケージ製品です。

フィルター使用状況などの浄水器の情報をアプリックスのクラウドサービスに発信するための装置「IoTIZR(アイオータイザー)」、スマホアプリ、セキュリティ対策、専用のクラウドサービスが含まれており、流量センサーにつないですぐに使い始めることができます。



詳細は2017年10月27日付プレスリリース「浄水器につなぐだけでIoT化できるオールインワンパッケージ「HARPS Aqua」を開発」及びHARPS Webサイト(英語)をご覧ください。

■ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント

アプリックス開発のIoTモジュール、流量センサー、給水ホース用ワンタッチジョイントを一体にした製品です。浄水器を買い替えたり改造したりすることなく、浄水器の給水ホースに取り付けるだけで、フィルター交換の通知をスマホで受け取るなどのIoT化が実現できます。

「ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント」は世界的キッチンメーカーであるFrankeに採用され、「Franke FM100 Filter Monitoring Device」の製品名で2017年6月から販売されています。

詳細は2017年6月21日付プレスリリース「アプリアックスの浄水器向けIoTソリューション採用のフィルター・モニタリング・デバイス、世界的キッチンメーカーFrankeから発売」及びアプリアックスWebサイト「ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント」をご覧ください。



<「InterAqua 2018 第9回国際水ソリューション総合展」とアプリアックスブースについて>

名称:	InterAqua 2018 第9回国際水ソリューション総合展
会期:	2018年2月14日(水)～16日(金) 10:00～17:00
会場:	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東1ホール
公式サイト:	http://www.interaqua.jp/east/index.html
アプリアックスブース:	小間番号 : IT-20

以上

■株式会社アプリアックスについて

アプリアックスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoT(Internet of Things)です。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリアックスのwebsite(投資家情報等):<http://www.aplix.co.jp/>

アプリアックスのテクノロジー事業:<http://business.aplix.co.jp/>

■お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<http://www.aplix.co.jp/inquiry/>

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。